

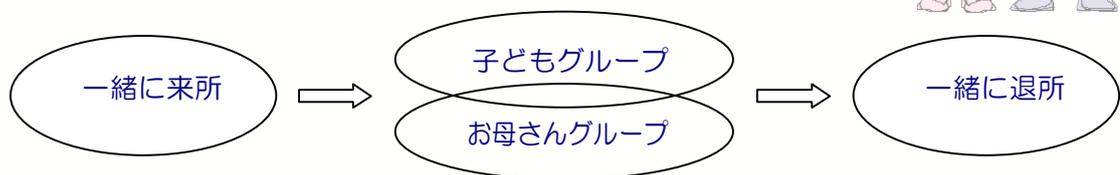


D V被害を受けた  
お母さんと子どもたちへ  
ーグループワークへのお誘い

DVによる被害は、お母さんだけでなく、子どもにも大きく影響してくることが知られています。DV被害の影響から回復しようと毎日努力していらっしゃるお母さんにとって、子どもたちへの影響は、大きなご心配なのではないでしょうか。そうした不安を解消し、安心できる母子関係を育むために、下記のようなグループワークを企画しました。このプログラムは、暴力の被害を克服し、安心できる母子関係を育むことを目的としたものです。このプログラムに参加してみませんか。



**名 称** 母と子のコンカレントプログラム（同時並行プログラム）  
**活動内容** カナダで実践されているものをモデルとし、子どもたちのグループとお母さんたちのグループを同時並行して実施します。



**活動期間** 平成 25 年 6 月 29 日から 8 月 10 日 毎週土曜日  
 13 時 30 分から 15 時 30 分までの 120 分（全 7 回）

**会 場** 武蔵野大学心理臨床センター プレイルーム・グループワーク室  
 江東区有明 3-3-3  
 りんかい線「国際展示場」駅から 7 分（地図参照）

**参加者** DVの被害にあい、現在は加害男性とは別居している家族の小学 2 年生から 4 年生の男女とお母さん。（きょうだいでのご参加は基本的にできません。ご相談ください。）

**人 数** 7 家族まで

**参加費用** 無 料（交通費は研究会から全額補助されます）

**スタッフ** NPO 法人 RRP 研究会メンバー及び武蔵野大学心理臨床センタースタッフ他  
 母親グループ：高橋郁絵・菅田公子・古賀絵子他  
 子どもグループ：森田展彰・春原由紀他 精神科医、臨床心理士など

このプログラムの内容や結果を検討するため、ご協力いただくことがあります。詳しいことは、申し込んでいただいた時点でお話し合いをし、ご承諾いただける場合だけ、参加していただきます。



このプログラムにご関心をお持ちの方は、FAXかメールで下記までお問い合わせください。

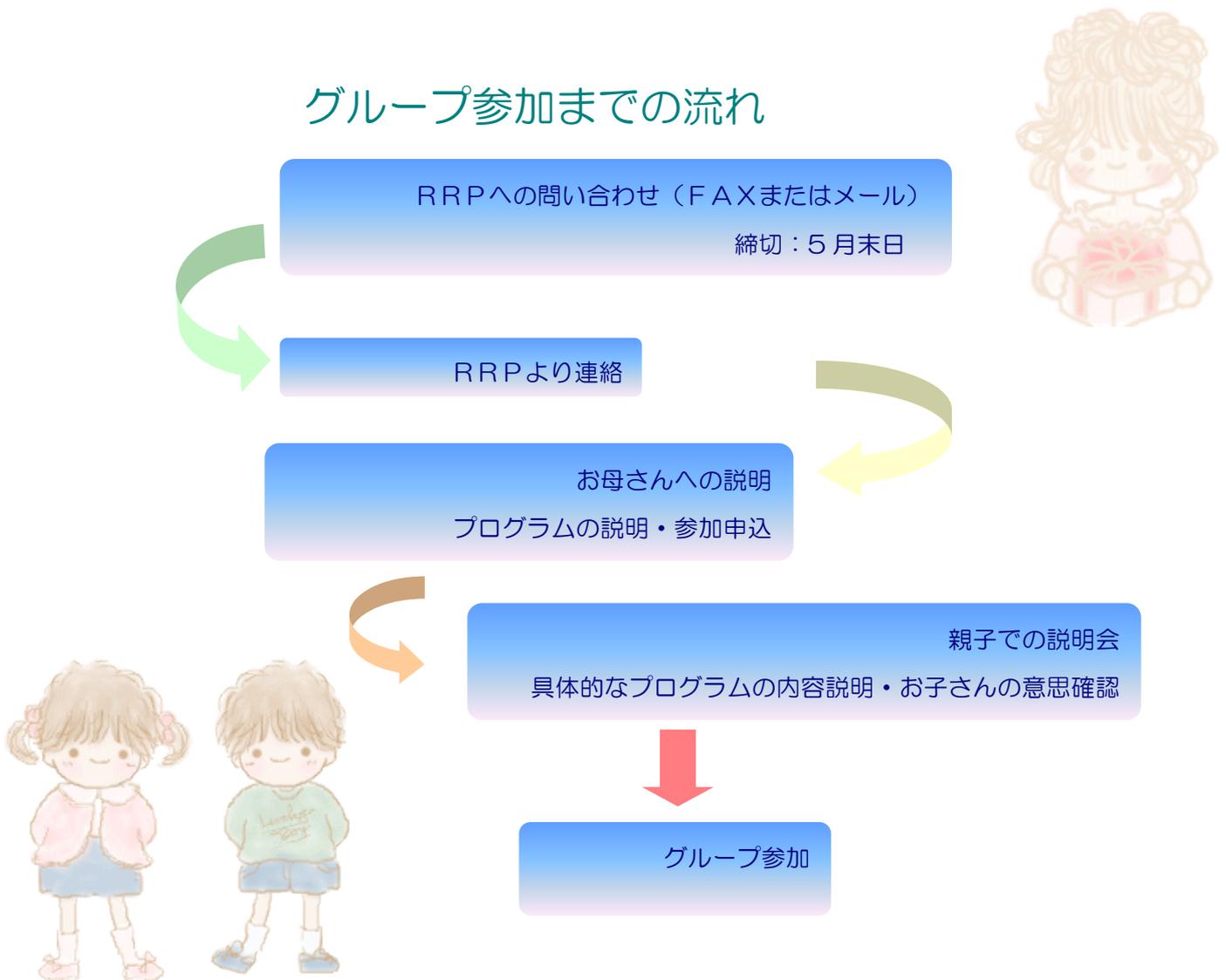
こちらからご連絡しますので、ご連絡の方法やご都合をお知らせください。

FAX番号 03 - 5485 - 3636 / 03 - 5530 - 3834

メールアドレス welcome@rrpken.jp



## グループ参加までの流れ



🌱 NPO法人RRP研究会 (代表: 信田さよ子) とは、ドメスティック・バイオレンスの被害、性犯罪被害にまつわる様々な支援・調査・研修等の事業を行うことによって、家庭の平和と子どもの健全育成及び男女平等の実現に寄与することを目的とし、精神科医、臨床心理士、保健師などで構成される団体で、2007年12月に東京都より認証されました。

画像提供: さくらぼっぴ



## 母と子のコンカレントプログラム問い合わせ

FAX 送り先 03 - 5485 - 3636 / 03 - 5530 - 3834

ふりがな  
お名前

---

電話番号 / FAX 番号

---

ご住所

〒

---

メールアドレス

---

問い合わせたい事

RRP から電話でご連絡する際のご都合

何時頃お電話していいですか。

---